

1・2年生中心の新しい生徒会本部が誕生します

9月19日に生徒会の立ち会い演説会と生徒会選挙を実施しました。今回は本部役員の数を上回る生徒が立候補し、生徒会活動への関心の高さがうかがえました。

3年生を中心とした旧生徒会本部は校則の見直しを行ったり、地域クリーン大作戦！with二中を企画・運営したりするなど、生徒会活動を活発に行い、新たな二中生徒会の一歩を踏み出しました。そのような旧生徒会本部役員の姿を見て、今回の意欲的な選挙につながったと感じます。新しい生徒会本部役員の活躍で、さらに活発な生徒会作りを期待しています。

立候補者の主な演説内容（一部抜粋）

- ・笑顔と「ありがとう」であふれる学校作り
地域の方々との交流を通して、外でも感謝の言葉を伝えあえるような行事を行う。
- ・みんなが過ごしやすい二中にする
行事を盛り上げて楽しい学校にする。みんなの意見を聞いて、校則見直しなどを行う。
- ・地域との関わりが深い学校
一度しかない中学校生活なので、充実した新行事を企画したい。
- ・個性を尊重し、来ることが楽しくなる学校
いじめをなくし、個性を尊重する雰囲気を作る。
- ・他学年でもお互いを尊重し合える学校
他学年との交流を盛んにする。（縦割り活動を実施する）
- ・礼儀正しくあいさつのできる学校
地域の人とつながるような活動をする。部活動や委員会を活性化する。
- ・風通しのよい学校
地域と交流するイベントを実施する。意見が言いやすく明るい校風を作る。
- ・成長し続けられる学校
今年度行った生徒会中心の地域クリーン大作戦のような活動を継続し、さらにみんなの意見を尊重した生徒主体の活動が広がるような生徒会作りをする。
- ・一人一人の居場所をみんなが作る学校
居場所作りや挨拶運動を実施する。
- ・いじめのないみんなが楽しいと思える学校
- ・心の底から笑い合える明るい学校
よさを付箋で貼って、認め合う。意見を取り入れるためのアンケート調査を企画する。
- ・皆が大好きで誇れる学校
一人一人の個性を大切に活動を行う。
- ・笑顔が増えて他学年とも仲良く楽しく過ごせる学校
校内に目安箱を設置し、意見を取り入れた活動を実施する。



3年生修学旅行 9月24日～26日



修学旅行は3日間とも天候に恵まれた中、貴重な経験がたくさんできました。1日目は奈良に学年全員で行き、東大寺で大仏様を間近に見学する等の共通体験をしました。2日目は京都市内で班別自由行動を実施し、寺社の見学や興味のある体験活動に自主的に取り組みました。京都市内のバスや地下鉄を駆使し、丸一日楽しむことができました。3日目はタクシーでの班別自由行動（半日）で、

2日目の活動場所とは少し離れた所にある寺社を訪問しました。3日間の中には、御所や鴨川の名所で朝ランニングをしたり（希望者35名）、外国の方に英語で話しかける課題にも取り組んだり等、特別な体験もできました。



コミュニティ・スクール情報

第2回オンライン朝会（キャリア教育）

第2回オンライン朝会のゲストティーチャーは、篠原久美子先生です。篠原先生は現在群馬県働き方アドバイザーとして、様々な企業にアドバイスをなさっています。また、英語力を生かした旅行関係のお仕事や小学生への読み聞かせボランティアなどもなさっており、様々な分野での経験が豊富な方です。

篠原先生は、英語が好きで英語を使った色々な経験をしています。大学卒業後は、ツアーコンダクターや中学校英語教師の経験もあります。そして、40歳でビジネススクールに通ったことが転機になって、やりたいことを積極的に取り組んでいくようになったとのことでした。また、東京オリンピックでは、通訳の仕事を通して、「多くの方との出会いの輪が広がった」というお話も伺いました。

<中学生に伝えたいこと>

WANT(やりたいこと) LIKE(好きなこと) NEED(必要とされること) この3つが重なっているところが「夢中になれること」

- 夢中になれることを見つける
- 人との出会いを大切にする



第3回オンライン朝会（キャリア教育）

第3回オンライン朝会のゲストティーチャーは、小島康志先生です。小島先生は、消防士であり、救急救命士でもあります。そして、仕事が休みの日には、たくさんの学校でプッシュ講習会を開催したり、東京マラソン等のマラソン大会に救命士として参加したりする活動をボランティアで行っています。

小島先生は、お仕事柄これまでは自分の死を覚悟するような緊張場面にも遭遇したことがあるとのことでした。また、現在でも20代の方々と一緒に、日々筋トレや忍耐力をアップさせるなどの辛い訓練を行っているのは、人の命を救ったり、自分の命を守ったりするための力を現場で発揮するためということでした。人を救う最前線の一分一秒を争う現場は、緊張感も大きいが大変やりがいのあるお仕事であるというお話や、感謝されたときの嬉しさのお話など、貴重な体験談を伺いました。そして、これからもたくさんの人に救命士の仕事を広めたり、心肺蘇生講習など命を救う技術を伝えたりしていきたいという、意欲に満ちあふれたお話も伺いました。

<中学生に伝えたいこと>つらく苦しいことも、頑張り抜く力をつけてほしい。



家庭科でまつり縫いの学習支援

まつり縫いの授業には、1年生全クラス5名のボランティアさんが支援に入りました。小学校5年生から手縫いの学習が始まっていますが、今回裾のまつり縫いの実習は初めての内容です。表に目立たないように縫っていくことが難しかったようです。学習支援ボランティアの皆様、丁寧なご支援をありがとうございました。



中庭で書道パフォーマンス

1学期末5・6組の書道授業のゲストティーチャーとして「めんこいガールズ」が来校しました。「めんこいガールズ」の皆さんの書道の腕前は大変高いレベルです。

午前中の授業後昼休みには、中庭で書道パフォーマンスや歌も披露してくれました。

全校生徒がベランダや犬走りから大きな声援を送って、中庭がまるでコンサート会場のように盛り上がりました。書道パフォーマンスで書いた立派な文字は、合唱コンクールのステージ上に飾らせていただきます。「めんこいガールズ」とスタッフの皆様、大変ありがとうございました。

